

石川県産米の収量確保・品質向上

水稻情報

中干し 田植え1か月後を目安に を開始しましょう

中干しをしっかりと実施していない圃場では、高温が続くと茎数が急激に増加し、籾数過剰と登熟のバラツキにより乳白粒・屑米の発生が懸念されます。

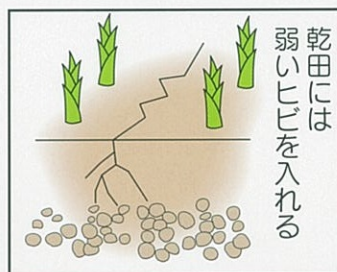
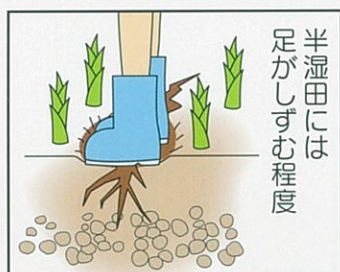
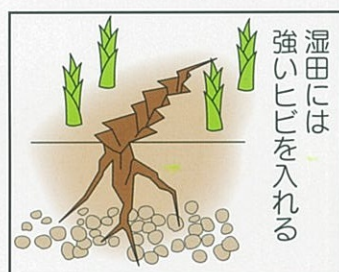


中干し開始適期の稲姿

中干し管理の効果

- ① 元気な根づくり → 根腐れ・倒伏防止 → 登熟・食味向上
- ② 余分な窒素を抜く → 過剰生育抑制 → 乳白粒発生防止
- ③ 田面を固くしめる → 収穫直前まで通水してもコンバイン作業は楽々

＜中干しの程度＞



中干しの効果を高めるために、溝切を実施しましょう！

- ① 田んぼの排水が良くなり、効果的に中干しができる。
- ② 収穫直前まで通水がスムーズに行えるため、乳白粒、胴割れ粒の防止につながる。
- ③ 排水が容易になるため、コンバイン収穫がスムーズになる。

※暗渠排水溝を開けるとより効果的です



溝切作業

詳細は、地区の営農だよりをご参考に頂くか、最寄りのＪＡ・県農林総合事務所にお問い合わせください。